

2 t 衛生車（計量車）仕様書

八尾市環境部環境施設課

第一章・総則

1. 趣旨

この仕様書は、八尾市環境部環境施設課（以下、「当課」という。）が、令和7年度に購入する衛生車についての必要な事項を定めるものである。

2. 基準

本仕様書及び次の法令等、関連法規に適合したものであるもの。

- (1) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
- (2) 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）

3. 疑義

仕様書に記載のない事項又は疑義が生じた時は、当課の指示を受け、誤りの無いようにすること。尚、不明な点は当課へ確認し、十分熟知の上契約するものとし、契約後に生じた疑義は当課の解釈に従うものとする。

4. 費用

入札価格には、重量税、リサイクル、自賠責、印紙代、消費税は含まないこと。（その他に発生する費用はすべて入札価格に含む。）

5. 検査

- (1) 検査は受注者立会いのもと、当課担当者が行う。
- (2) 受注者は、中間検査前に当課担当者と仕様確認する。
- (3) 中間検査は、当課担当者と受注者が協議のうえ決定した場所で行う。
- (4) 中間検査時の異議については、修正後写真を添え、当課担当者に確認する。
- (5) 完成検査は、全塗装及び全装備が完了した時点とし、検査の結果不備事項又は不合格品がある場合は、当課の指示する日までに改修又は取り換えを行い、再度検査するものとする。

6. 納入

- (1) 納入場所 八尾市環境衛生庁舎内（八尾市福栄町4丁目42-1）
- (2) 納入期限 令和10年3月31日（金）※上記完成検査を終えた完成車両の納入期限
- (3) 納入台数 1台

7. 点検・修理

点検及び修理は迅速・丁寧に実施すること。

8. 製作上の注意

- (1) 使用上の安全性、操作性を十分考慮すること。
- (2) 車体は十分な強度及び安定度を有し、耐久性及び耐食性に優れたものであること。
- (3) 車体は、堅牢で長期の使用、常時登録された車両総重量の状態において十分耐えうるものであること。
- (4) 清掃、点検整備、修理等が容易に行えること。
- (5) 各S/W類のレイアウト及び装備品等の積載については、当課の意見を取り入れ機能的かつバランスよく配置し製作すること。

9. 補則

完成車両は納車時に最低限の燃料を補給しておくこと。

第二章・シャシー

1. 衝突被害軽減ブレーキ（移動／静止歩行者ともに検知）を装備すること。

2. 車種・形式

衛生車に改造可能な2 t車で、次に定める規格に適合し、かつ仕様書に記載する装備品、積載品を装備するのに最も適したシャシーであること。

3. エンジン等

総排気量2, 999cc（150PS）ディーゼルエンジン

4. 寸法（架装部含む）

（1）全長 約480cm以下

（2）全幅 約170cm以下

（3）全高 約212cm以下

5. 架装後の車両総重量が6 tを超えないものとし、かつ最大積載量が1. 8 t（1, 800ℓ）以上のものとする。

6. キャビンは、3人乗りチルト式標準キャブとすること。

7. パワーウィンド及びパワーステアリングを装備すること。また、ステアリングは右側に配置し、方向指示器及びワイパーのレバー位置は、日本国内車と同様にすること。

8. 変速機はフロアタイプのマニュアルミッションとすること。また、サイドブレーキは従来どおりワイヤー式とすること。

9. ブレーキには坂道発進補助装置を取り付けること。

10. タイヤはスチールラジアルタイヤ（チューブレス）で、後輪はダブルタイヤとすること。

11. 純正エアコンを取付けること。

12. 純正ラジオ（AM・FM）を取付けること。

13. 座席中央部用センターハンドル（八尾市仕様）の設置については協議のうえ判断する。

14. 燃料タンクは50ℓ以上とすること。

15. キャビン床には、ゴム製の純正フロアマットを取付けること。

16. 助手席にサンバイザーを取付けること。

17. PTOは純正品を使用し、スイッチの配置については協議のうえ決定する。ただし、PTO作動時には排気ブレーキが切れること。

18. バックミラーは左右可変式電動ミラーで、個別にスイッチを設置すること。なお、スイッチの配置については協議のうえ決定する。（左ミラー上部に補助ミラー、下部にステー付アンダーミラーを取付けること。）

19. 後退時及び左折巻き込み防止装置（音声アラーム）を取付けること。

20. けん引フックを車両の前後に取付けること。

- 2 1. 静電気を防止する部品を取付けること。
- 2 2. 座席シートは凹みのない硬めなビニールシートを使用し、座席中央部にシートベルトを取付けること。
- 2 3. 啓発用拡声器システムを取付けること。なお、スピーカーについてはキャビン下を取付けること。
 - (1) ノボル製車載用 MP3 プレーヤー付 PA アンプ〔SD カード付〕
【参考機種】 YD-314B (同等品可)
 - (2) ノボル製車載用スピーカー 【参考機種】 SC-113C (同等品可)
- 2 4. 作業表示灯設置のためのルーフキャリアを取付けること。
- 2 5. 付属品 標準工具セット、ドアバイザー (アクリル製)、スペアタイヤ、キャップ付電源ソケット、三角停止表示板
- 2 6. ドライブレコーダを所定の位置を取付けること。なお、フロントのみ録画とする。
【参考機種】 デンソーDC-DR653 (同等品可)

※参考機種以外で入札に参加する場合は、必ず同等品申請の手続きを行うこと。

【文字記載】

カットティングシートにより記載するものとする。

- (1) カットティングシート　ダイナカル　DCシリーズ　DC1001（ホワイト）
- (2) 書体　写研ゴナDB

NO. 00 ※ナンバーについては改めて通知します。

上記カットティングシート及び書体により記載されたシートをキャビン指定位置の左右に貼り付ける。

- (1) サイズ　1文字サイズ　高さ65mm×幅40mm
- (2) 貼付位置　（下記車両参考）赤線枠内

八尾市

上記カットティングシート及び書体により記載されたシートをキャビン指定位置の左右に貼り付ける。

- (1) サイズ　1文字サイズ　高さ45mm×幅45mm
- (2) 貼付位置　（下記車両参考）青線枠内

八尾市市章

上記カットティングシートにより記載されたシートを左右ドアの所定の位置に貼り付ける。

- (1) サイズ　高さ125mm×幅125mm
- (2) 貼付位置　（下記車両参考）黒線枠内



第三章・架装部

1. ポンプ形式	B35D (2 トン車用ポンプ)
2. タンク容量	1, 800ℓ
3. タンク形状	楕円タンク
4. タンク室数	1室
5. タンク材質	鉄
6. タンク内面処理	カチオン電着塗装
7. 物量計	18ℓ刻み
8. 計量機	ロードセル式計量装置

※計量機については無線接続とする。又、外部より操作が出来るよう外部表示器を取付けること。

9. 吸排コック	右75mm×75mm×75mm
----------	-----------------

10. ホースリール

- (1) 直落式ホースリール、カバーはステンレス製塗装仕上げとする。
- (2) ドラム本体上部及び下部は丸棒にて補強し、切り込み部も同様とする。
- (3) リール本体とゴム車輪の設置面は、ホースを巻いた状態で高さ調整する。
- (4) スイベルジョイント及び吸入コックボス部は、グリス注入口を延長して、リール本体左側下部にグリスニップル(八尾市指定)を取付ける。
- (5) リール回転防止金具を取付け、安全ピンを装着する。
(巻き取り機)軌道装置を取付け、ブラケットにピン受けを設置する。
- (6) リールコックレバー付近にひらがなにて「ひらく」・「しまる」と記入する。

11. ホース巻取り機

- (1) 駆動モーター・減速比(30:1)
- (2) リールカバーから駆動カバーへのステー不要。駆動カバー延長、BKTはタンクより取り出し、駆動モーター部はタンクより補強する。
- (3) 駆動カバーBKT~タンク間のFB補強 脱着式 右側後部のみとする。
- (4) アース線はタンク座金と共締め。
- (5) マグネットS/W部配線は、クラッチレバー取付けポール前側より配線止め取り出し取付け。
- (6) 減速機下部にオイル受け皿を取付けて、減速機取付けBKTは補強する。
- (7) リールクラッチレバーBKTは、タンク胴板後端へ取付け、レバー下部の接地面に、ステンレス板張り。
- (8) リールクラッチレバー誤操作防止ブザーをキャビン内に取り付け。
- (9) リール押し釦S/Wの配線は、チューブに入れてライセンスプレートの裏を通し右側に取り付け。
- (10) 巻き込み防止ステー取り付け。

12. 脱臭機

- (1) コーヨー社製セントレス（タンク～キャビン間）に取り付けること。
 - (2) 吸気配管（鉄製）は、脱臭機取り付けの妨げにならないこと。
 - (3) コック下排水管に操作手順の番号シール①②③を貼ること。又、脱臭機本体給水口及び水タンク給水口に、個別に名称シールを貼ること。
 - (4) 脱臭機本体内部に活性炭かさ上げ用パンチングメタル特殊加工品（バケット型）を取り付けること。
 - (5) 脱臭機水タンク内部の洗浄が可能なように、本体上部に開閉式蓋を取り付けること。
- 1 3. 主マンホール
 - (1) フロートガイド（ステンレス製）
 - (2) マンホール本体ハカマ部及び取り付け角材（ステンレス製）
 - (3) スピンドルを取り付けて、1800ℓで止まること。
 - (4) 気圧安全弁はメッキ加工して、バルブ部はステンレス製とすること。
 - 1 4. サイド吸管受 排水ホース7m収納とし車両右側にホース受けを取付ける。
（前部吸管受けはアールに固定、BKTはタンク側より取付け、後部はリールカバーまで延長、ナット及びマンホールが容易に脱着出来るように二分割とする。）
 - 1 5. タンク後部に足掛けステップを1箇所取付ける。
 - 1 6. ホースハンガー丸環を外しL型ボルトで締め、ガタが無いように平ワッシャーを入れ溶接する。
 - 1 7. タンク保護枠左右共に出来るだけ前方まで延長。
 - 1 8. 柄シャク 収納用ブラケットをタンク左前方斜めに取り付け、柄シャク前方は塩ビつば付き汚物容器、後方は1箇所斜めに取り付ける。（柄シャクの金具部分が出来るだけ歩行者の視界に触れないように対策を講じること）
 - 1 9. タンク掃除口はタンク後部スタンダード位置に取り付けること。
 - 2 0. 四方コックサイドに注入用ドレンコック増設。
 - 2 1. タンク後部チェーン吊り掛け不要。
 - 2 2. ライセンスプレート上部鉄板張り。
 - 2 3. 吸排切換コックレバーロッド、接続部2箇所にゴム製ブーツ装着。
 - 2 4. 吸入（入・切）直落コックロッド、接続部1箇所にゴム製ブーツ装着。
 - 2 5. ホースレンチ挿し落下防止用クリップ付き（フレームに接触しないこと）
 - 2 6. 引っ掛け棒入れ（鉄パイプ2.5cm×40cm）右側ホース巻き込み防止枠内に垂直に取付け。又、鉄パイプ（直径1cm 長さ70cm）上部に引っ掛け棒ブレ防止のため、切込みを入れること。
 - 2 7. 汚物容器はタンク後部の左コック取り付け用フランジ周辺に取付け。（柄尺用汚物容器と同等の材質とし、走行中にガタつきが無いように対策を講じた上、汚物容器底部に水抜き用の穴を開けること）
 - 2 8. ストレーナ受け（排出用）右側リヤフェンダー前方に取付け、ストレーナ受け抜け出し防止対策を講じること。又、取り外しが可能な抜け出し防止金具は、出来るだけ作業員及び排出ホースに干渉しないように取付ける。
 - 2 9. 吸入用ストレーナ受け垂直に取り付ける。（バンパー内側）

30. リヤフェンダー角型 ボルト頭を外側に向けて締め付けて振動しないようにBKT補強すること。
又、後側に泥除けゴムを装着すること。
31. 保護棒 リヤフェンダーからリヤバンパー間は2段式で上段は化粧バンパーの高さにすること。
32. 歯止めは木製（底面ゴム板張り、ボンド及び釘打ちで、底面ゴムが剥がれないように対策を講じること）フラットバーにて補強すること。
33. スペアタイヤキャリア受け不要。
34. 電光掲示式作業表示灯（作業中）の文字盤を車両の前後に取付ける。配線類については、固定金具が経年劣化により垂れ下がる等の問題が生じないように、対策を講じること。又、スイッチは運転席に取付けて、PTO作動時に点灯させるように連動させること。
35. 巻き取り機のメインスイッチを、運転席室内に取付けること。
36. 吸排用ストレーナ入れ 吸入の時、密着しないよう底に段差をつけること。
37. メインセパレータードレンコックは、ステンレス製のワンタッチ式（KITZ UTKW1/2）とすること。
38. ドレンセパレーター ロッキングボルトステンレス製とすること。
39. ブリーザバルブ吸入弁下は、溜り水及びゴミ等の誤吸入を防止するために対策を講じること。
40. 前輪及び後輪の後側に泥除けを取付けること。尚、巻き込み防止対策を講じて泥除けを取付けること。

第四章・その他

1. 吸入用ホース（青色）45mm×40m 1本 口金 50（オス・メス）
2. 排出用ホース（黒色）75mm×7m 1本 口金 75（片メスリング付）
3. 簡易洗浄装置 水ポリタンク 15ℓ程度 ホース 10m 以上（自動巻取式ホースリール付）
4. 前部工具箱 ステンレス製（大きめ）左右底に穴を開けてフタ又は本体に雨混入防止処置を施すこと。
5. 後部工具箱 ステンレス製（大きめ）左右底に穴を開けてフタ又は本体に雨混入防止処置を施すこと。
6. 手袋入れ道具箱 パンチングメタルステンレス製 指定位置（2箇所）に蓋を付けて取付ける。
左側 縦 300mm×横 200mm×高さ 100mm
右側 縦 150mm×横 200mm×高さ 100mm
7. 開閉式掲示板 縦 600mm×横 1000mm 指定位置に取付けること。
8. 消火器 3型取付ける
9. バックモニターカメラを取付けること。
10. ロードセル用変換器に保護カバー（ステンレス製）を取付けること。
11. 計量機については無線接続とする。又、外部より操作が出来るよう外部表示器を取付けること。

第五章・塗装（指定色：ロックペイント 030 - 9000 P18 - 552 グリーン艶有）

1. 下地 カチオン塗装
2. 下地 サフェーサ 1回
3. 中塗 指定色 2回
4. 上塗 指定色 2回
5. Fバンパー 指定色
6. テールランプBKT 巻き込み防止枠等 取り外し塗装のこと。
7. フェンダー各裏 キャブステップ付近 アンダーコート塗装
キャビン下部ウレタン黒塗り

参考写真（当市所有の衛生車）

助手席側 側面



運転席側 側面



前方面



後方面



簡易洗浄装置&変換器保護カバー



運転席側手袋入れ&工具箱（SUS製）



運転席側後部工具箱（SUS製）



助手席側消火器&手袋入れ（SUS製）



助手席側後部手袋入れ (SUS 製)



スィベルジョイントグリス注入口



開閉式掲示板 (運転席側&助手席側)



外部表示器



室内バックモニター



バックカメラ&後方作業灯



暴力団等不当介入に関する特記仕様書

八尾市契約関係暴力団排除措置要綱に基づき、次のとおり措置するものとする。

- (1) 受注者及び下請負人等が契約履行に当り、暴力団員又は暴力団密接関係者による不当介入を受けたときは、八尾市暴力団排除条例第9条第2項に基づき、速やかに本市に報告するとともに、警察への届出をすること。
- (2) 前項の報告義務を怠ったと認められるときは、入札参加停止措置を行うものとする。
- (3) 受注者及び下請負人等が第1項の不当介入を受け、同項の規定に従い適切な報告、届出又は指導を行ったと認められる場合に限り、必要に応じて、履行期限の延期等の措置を講じることができる。